

五 大衆斗争の回避 地主土地引上、小作米ゴマリ借金の問題が組合員の間に起り、未組織の小作人からそのを頼手れたりすると事件師的を手法で解決するやうなことがあるかのやうであるがゴマリ組合には出来る限り大衆的斗争に発展させるやうにすべきである。

六 政治斗争の不充分 メーデー

より、立憲主義を差押反對等の署名運動が全体的に斗かわれ力をなす。

以上のやうなことを簡便にメーデーと斗争が計画的でない、斗争の立オケレによると言ふことが出来るのである。

吾等の斗争が果敢に起され斗争の勝利を獲得する。ためには、嚴格な規律と、統制とが絶対必要であつて組織され左組合員の一人である限り、早に口先ばかりの理論でなく、組織と統制を重視するが如き個人行動は絶対的にツツシテおぼしきものである。以上、強固な組織が必要である。ゴマリに於て、実践的斗争と交互関係の下に組織の両編成の活動が聯合会に於て採りうるべきであつたにせよ、本部組織ツ

マリ常任の半不足は、斗争の力をオツカケマケルやうな状態であつたため空に不充分であつた。

イ 地区組織の確立 福岡三養基では地区組織の正式確立は行、が斗争において地区單位に行きわたる組織の確立を急ぐとすべきである。

(メーデー)

ロ 班支部組織の確立 之れは各地に於て、二、三、確立されてゐるが全体的にみれば、案に未完成に甚しい。班支部の確立が不充分である限り斗争はメトヨリ、地区聯合会の強固な組織はムツカシイのであつて、班支部は組織斗争の土台とならねばならず、班支部確立の不充分は、動員連絡配布網等の組織に完備し、支配階級の弾圧に遭つて良くなるのを防ぐことが出来ぬ。

ハ 青年部婦人部の確立 二月事件の暴圧で支部の優秀な青年を奪われたこと、農村青年の組織

日本資本主義は崩壊危機を切りぬけるために市場獲得のための侵襲戦争を企て、国内に於ては労働者農民の反資本主義斗争の勃発、日本経済の崩壊を恐るるが故に、一切を資本家地主の有用物件としておとし、手、廉令には治安維持法を改定せしめ、更に不法な方法に補助取締法を制定し、斗争(労働、小作)の指導者を殺戮し、斗争を圧殺せんと計画されてゐる。尙早急な工作をマケル土地引上反對の常任、青年部のガレキやアガ政戦士に備へ逆襲し得る知識をもつては最も必要であり、重大な

。戦争反対、革命社会員